

歴史と伝説に彩られた国境の町に親鸞、弁慶、忠敬、芭蕉の足音がこだまする

泊まち歩きMAP

日本海

ヒスイ海岸
ヒスイテラス
タラ汁街道

芭蕉の句碑

「早稲の香や分け入る石は有磯海」
親不知の難所を越えて越中に入った
芭蕉が詠んだ句が刻まれている

親鸞聖人の杖櫛

船皮をはぎ、わらで
説法を行う親鸞聖人の
杖を運ぶことができた
といわれるワラヤギ
信仰の木と呼ばれています

ゆげの木のあふれ
若狭のゆげ
芭蕉翁

腰かけ石

承元元(一〇〇七年)
の三月、親鸞聖人が
越後へ向かう途中で
この石に腰掛けられ
たといわれています

泊町は親不知の難所と境関所をひかえ
しかも、上街道と下街道の合流点だったので
宿場町として発展しました

1/f ゆらぎ
cafe

泊町が現在地に移転した時、
下町・中町に寺院を集め
門前に月6日の市を設けて
町の発展を図ろうとしました

商店街食べ歩き！
大むら菓子舗「ヒスイ羊かん」
木村豆菓子店「ラジュウム豆」
菓子処みずしま「チーズケーキ」

宿場町の街並

菓子処みずしま

木村豆菓子店

妙輪寺

おもかげソーン

神田町は昔からの
料亭や置屋・検番などが
軒を連ねる芸妓の町です
明治時代「泊貸座敷免許地」という
県の指定を受けたので
「免許地」とも呼ばれて
いました

越中と越後の国境にあり、
旧北陸道の宿場町として栄えた
泊のまちを、
歴史の面影を訪ねながら
私たちあさひガイドグループが
ご案内いたします

サンリーナ
ふるさと美術館
百河豚美術館
まいぶんKAN

ランチ
お土産
お店紹介

▼お店の情報は、
朝日町観光協会
HPをご覧ください。



(一社)朝日町観光協会
2026.3



【馬場はる】1886(明治19)年～1971(昭和46)年。下新川郡朝日町の小沢家に生まれ、富山市東岩瀬の海運業馬場家に嫁ぐ。若くして夫道久を失ったが、家業を守り、子どもを養育し、社会文化事業に貢献した。大正12年、旧制富山高等学校の設立費を寄付し、本県高等教育の振興に尽くした。
 【伊能忠敬】江戸時代全国を歩いて測量し、初めて実測の日本地図「大日本沿海輿地全図」を作りました。朝日町では1803(享和3)年に測量しています。
 【伊東家】伊東家は加賀藩の命により、代々、十村役をつとめていました。また八代 伊東彦四郎は「豊本新用水」を完成させました。
 編集・発行 あさひガイドグループ 2004.4